

第2回保育部会研究委員報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝			保育部会長 宮本 ゆかり (れんげ保育園)		
開催 日時	令和5年9月4日	開催場所	浜田市総合福祉センター 研修室	記 録 者	河野 理恵 (くもぎ保育園)
	14:00 ~17:00				
出席者	おぐに・うみかぜ・三隅・みのり第2・浜田ひかり・くもぎ			欠 席 者	無し

1. 協議内容

- それぞれの園で持ち寄った、県、中国、全国大会の資料を参考にしながら、取り組みの検討をしてみる。
- 主体性を意識した“あそび”の取り組みは、過去の研究発表などで、各園で実践し始めているが、“生活面“での、子どもの主体性とは？”について各園で実践していること、また、今後実践として取り組んでみたい事などを各園で出し合う。

《食事面》

- A園…食事、着替えの時には、本児の意思を受け止める。
子どもの「やりたい、やりたくない」を一旦受け止めて、次のステップと一緒に考えていく。食事の量を自分で決めるなど。
 - B園…11:15～11:40までの間に、自分のタイミングで遊びから給食に切り替え各自で「いただきます」をして食べ始める。
終わる時間も同様に各自で「ごちそうさま」をしている。
(あくまでも決められて時間内)
★好きなときに、好きな人と、好きな量(大、中、小が用意してある)を自分で選んで食べている。
(一斉に〇〇を見直した保育を実践している、メリット、デメリットはいろいろある。)
 - C園…運動会頃から3, 4, 5歳児の縦の繋がりが深まってきたので、食べる部屋を2つに分けて、自分で食べたい場所を選んで食べている。(ランチルーム無し)
基本、ご飯やおかずは自分でつけている(自分の食べる量を知ることに繋がりに、無理のない楽しい食事時間になるため)
いただきますや、ごちそうさまは一斉にしている。
★担任のチームワークや共通理解があって実現している
課題…給食時の当番の仕事がなくなったのが課題
- その他…ランチルームで食べている園、各クラスで食べている園と、子どもの人数や環境によって様々だった。

◎0、1、2歳児の食具（箸、フォーク、スプーン）も与え方は園によって様々で自分使い易い食具を選ぶ選択肢がある園もあれば、年齢で決めて出している園もあった。

◎食器の片付けは何歳から？園によって答えは様々、片付けが出来るのであれば年齢関係なく「自分で出来る事はする」が基本なのでは？

※どこの園も共通して言える課題は《担任によって与え方、やり方が違うので、子どもにとってどう対応するのが好ましいのか？》《担任でやり方が変わるのとは違うのでは？》《話し合いはできているのか？》などが協議された。

《排泄面》

★トイレトレーニングについて

- ・A園…1歳児の夏には布パンツにして過ごし自立へと促すが、冬には紙パンツに戻る子どもも多い。
子どもの申告「おしっこ」を待っていると、なかなか紙パンツがはずれないので、2歳児クラスに進級した春から全員布パンツにしたところ、その年の秋には殆どの子どもの排泄が自立した。（実践例）
- ・その他…年齢に限らずおしっこの間隔を把握して個々に声をかけて、オマルやトイレに促すが、行きたくないと子どもがNOのサインを出した時は受け入れている。
 - ・時間を決めて全員トイレに行くようにすると、トイレで遊び出したり、トイレに行くのを嫌がったりするようになる事もある。
 - ・給食途中での排泄はOKなのか？OKしている園と、食事のマナーにも関わるので、基本、どうしても我慢出来ない時意外は我慢するように声をかけている園もある。

※ここも食事と同様で、保育士によってやり方が変わるので課題である。

《午睡》

午睡時パジャマを着ている園（5園）着ていない（1園）

◎着ている園の理由…「今から午睡に入るよ」の切り替えの為
服を脱いだ後の始末などを丁寧に伝えるため（畳むなど）
綺麗な服で布団に入る為

◎着ていない園の理由…家庭でも昼寝をするのにパジャマは着脱していないから。
子どもたちの食後の時間もゆったりと過ごすため。
着脱の練習は、日中の着替えで十分できている等

※次回は11月6日（月）10月28日の県大会の感想を持ち寄る